

農業農村工学会誌 第82巻6号

目次

ページ	
巻頭	付録 平成26年度農業農村工学会大会講演会プログラム
1	展望 誰もが住みたくくなるような農村を目指して —北陸管内の農業農村整備の展開方向— 中里良一
3~22	小特集 北陸における農業農村整備の特色と展開
3	新潟らしい新技術調査検討の取組み 松尾勝則・佐藤太郎・本田純一
7	石川県の農業農村整備における新たな取組みについて 石垣広男・松本和貴・佛田利弘・濱田栄治・梅 宗一郎・澤本和徳
11	富山県の農業農村整備の展開方向 石川英一
15	福井県における農業農村整備 市埜吉孝
19	新潟における産官学連携による農業農村基盤の整備・利用・再生技術の開発 鈴木哲也・吉川夏樹・粟生田忠雄
24~35	技術レポート
24	北海道支部：山地流域を含む水田地帯における農業用排水路の流出実態 岸田隆志
26	東北支部：基盤整備における生物多様性の確保に向けた取組み 太田賀久
28	関東支部：耕作放棄地再生における大区画水田化と利用集積 村越紳人・小澤 峻
30	京都支部：岡島頭首工における堰柱の耐震補強 吉田知永
32	中国四国支部：平田船川汐止堰の施工と運用 河田健太郎
34	九州沖縄支部：沖積砂（礫）を基礎とする重力式ため池の建設 當山国博・青木 憲
36	小講座 地すべり防止施設とその維持管理 稲葉一成
37~56	コミュニティ・サロン
38	私のビジョン 農村の論理や知恵を読み解く 坂田寧代
41	スクール便り 地域の環境と基盤整備を支えるスペシャリストの育成 —千葉県立茂原樟陽高等学校 緑地計画科— 藤土康雄
43	Cover History 新川にかかる西川水路橋 —表紙写真由来— —新潟県新潟市— 奥平 浩
45	通信教育 技術者継続教育機構 第105回通信教育問題
49	部会報告 第51回材料施工研究部会シンポジウム開催報告
49	国内ニュース
50	支部講演会報告 中国四国支部（第68回）
57	インフォメーション・コーナー

新川にかかる西川水路橋（奥平 浩）

いまでは「にいがた百景」の一つにもなっている「西川水路橋」は、立体交差する川である。橋を架けられ細々と流れているかのように見える川がもとからある川で、下を流れる大きな川が人工的に掘られた「新川」である。

西川は信濃川から分派・合流し長岡と新潟を結ぶ舟運や用水を担う重要な河川だった。一方その沿岸に広がる西蒲原地区は水の出口のない湿地帯でしばしば氾濫して水害をおこした。だから日本海へ抜ける排水路が必要だったが、それには西川を越えなければならない。そこで木製のトンネルを西川の下につくった。トンネルの川が新川である。♪



公益社団法人 農業農村工学会

2014
VOL-82

6

WATER,
LAND AND
ENVIRONMENTAL
ENGINEERING

Feature Section : The Deployment on Agricultural Infrastructure Improvement and Rural Development in Hokuriku	
Investigation the New Technology of Land Improvement Projects in Niigata Prefecture	
<i>MATSUO Katsunori, SATO Taro and HONDA Junichi</i>	3
A Recent Activity for Agriculture and Rural Improvement Carried Out in Ishikawa	
<i>ISHIGAKI Hiroo, MATSUMOTO Kazutaka, BUTTA Toshihiro, HAMADA Eiji, TOGA Soichiro and SAWAMOTO Kazunori</i>	7
Situation of Agriculture and Development Direction of Agricultural Infrastructure Improvement in Toyama Prefecture	
<i>ISHIKAWA Eiichi</i>	11
Agricultural Infrastructure Improvement in Fukui	
<i>ICHINO Yoshitaka</i>	15
Development on the Construction, Utilization and Regeneration Technologies for Agricultural Infrastructure Based on Society-Academia Collaboration in Niigata	
<i>SUZUKI Tetsuya, YOSHIKAWA Natsuki and AODA Tadao</i>	19
Technical Reports	
The Runoff Characteristics of Agricultural Drainage Canal in the Paddy Region with Forest Watershed	
<i>KISHIDA Takashi</i>	24
Action for the Securing of Biodiversity in the Infrastructure Improvement	
<i>OHTA Yoshihisa</i>	26
Reformation of Abandoned Farmland into Large-sized Paddy Field and Use Accumulation	
<i>MURAKOSHI Nobuhito and OZAWA Shun</i>	28
Seismic Reinforcement Work for a Pillar of Okajima Head Work	
<i>YOSHIDA Tomonaga</i>	30
Construction and Operation of Hirata Funakawa Tide-Weir	
<i>KAWATA Kentarou</i>	32
Construction of Gravity Dam on Alluvial Sand and Gravel	
<i>TOUYAMA Kunihiko and AOKI Ken</i>	34
Technical Word	
Maintenance of Landslide Prevention Facilities	
<i>INABA Kazunari</i>	36

お知らせ○平成 26 年度（一財）日本建設情報総合センター研究助成公募について.....23

＼ 穀倉地帯を支えているのがこの新川である。いま、地図を見るとよく分かる。西川は海岸線に併行して信濃川に注いでいる。新川がそこを十字に横切って日本海に注ぐ。この水路橋の光景には川の主役の転換の背景も語られているのである。西蒲原地区を経て新潟市中につながる西川の舟運が栄えそして次第に廃れて行く推移は、想像に難くない。鉄橋に守られて水路となって流れる過保護な本流の姿が、何ともシャッター街の姿に似て、切ない情感を漂わせている写真である。

（講評 東京造形大学名誉教授 柳本尚規）